

# 勇将の足跡訪ね法要

## 本庄繁長 愛好家福島ツアー 没後400年

戦国時代の村上城主・本庄繁長の没後400年を盛り上げようと、繁長が晩年を過ごした福島市のゆかりの地を巡るバスツアー「秋の陣」が先週開催された。歴史愛好家らが、繁長の墓がある長楽寺での400回忌法要に出席したり、繁長の子孫らと交流したりして

郷土の英雄に思いをほせた。村上市の有志でつくる「本庄繁長公没400年祭実行委員会」が主催。村上市のほか、新潟田市や新潟市、東京都から約40人が参加した。本庄繁長は上杉謙信、景勝に仕え、生涯80回以上



上の合戦で一度も大敗を  
しなかった武将と伝えら  
れる。1613年に福島  
城で没した。

福島市の本庄繁長没400回忌法要バスツアーで開かれた講演会＝福島市

一行は、本庄繁長の墓がある長楽寺八幡神社で営まれた没400回忌法要に参加。前村上市郷土資料館長・松山勝彦さんが繁長の一生について講演した後、繁長と仙台藩主伊達政宗との戦いを講演調で話す一幕もあった。

また本庄家の現当主本庄俊長さん(北海道在住)や、繁長の家臣の子孫らと現地で合流、記念撮影や懇親会で交流を深めた。飯沼与三太委員長(70)は「今後も勉強会などを開き、地域の人たちに繁長の魅力を伝えたい」と意気込んでいた。